

# 架け橋

発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課  
鹿沼市今宮町1664-1  
TEL: 0289(62)7167 FAX(62)0148  
Emai:kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

創刊号（平成25年3月）

この度、上都賀地区内各小・中・県立学校の社会教育主事有資格者および生涯学習係を担当している先生方のための応援情報紙を発行することとなりました。

この情報紙が、皆様との架け橋になれたらという思いを持ち、また少しでも生かしていただけたらという思いを持ち、情報を発信していきたいと思えます。

## ～学校と地域が協働しやすい関係をさらに進めるために～

去る平成25年2月8日（金）鹿沼市菊沢コミュニティセンターで、**宇都宮大学の廣瀬 隆人先生と日本大学の佐藤 晴雄先生**をお招きし、上都賀地区ふれあい学習ネットワークを、上記のテーマで開催しました。

★学校と地域の連携って、「信頼関係」である。

★学校と保護者がつながることで、最終的に教育効果が高まる。

★学校内部にいと見えないことがある。

○時には学校の外から見る、複合的に見ることも必要。

★学校と地域が信頼関係をつくるために学校は何かから始めるべきか？

（1）空間づくり→居場所づくり

（例）ボランティアルーム、サロン、職員室、校長室

・（例）のような居場所があると、先生が忙しいことがわかる。

・学校は子どもと先生のためだけでなく、地域のためにもある。

（2）しくみづくり

（例）学校支援地域本部事業、コミュニティスクール、〇〇委員会

★学校・家庭・地域が一体となった事業ってどんな事業？

○「食べること」のある事業

○「食べること」と「作ること」のセットの事業

食べることで人はつながる

★コーディネーターについて

○コーディネーターは、地元の住民がいい。

○コーディネーターは、複数いた方がいい。複数だと喧嘩をすることもあってもいいかもしれないが、話し合うことができる。一人だと孤立する。

○コーディネーターは、ボランティア経験のある人が多い。



## 新社会教育主事有資格者教員紹介

平成24年度茨城大学で社会教育主事講習を受講し、新しく社会教育主事有資格者になったお二人の先生をご紹介します。



- [お名前]：高橋 雅則 先生  
[勤務校]：鹿沼市立東小学校  
[受講後の感想]：人としての視野が広がった。  
[受講後の実践]：地域育成会との共催行事である「なわとび大会」の企画・運営にあたり、昨年度までの反省を改めて洗い出し、今年度社会教育主事講習で学んだノウハウを取り入れながら計画実施した。



- [お名前]：渡辺 巖 先生  
[勤務校]：日光市立今市小学校  
[受講後の感想]：人とのつながりの重要性を学んだ。  
[受講後の実践]：一方的に協力をお願いするだけでなく、地域の方々にも児童の様子を知っていただき、共に地域の子どもを育てるという意識につながるよう、ホームページの公開を保護者から一般へと広げた。



下記は『平成25年度学校教育の充実に向けて』のp.4に掲載しているものです。職務の例として、参考にさせていただければありがたいです。

### 「生涯学習担当者」の職務（例）



- 生涯学習に関するファイルを整理する。
  - 生涯学習推進計画
  - 年間指導計画
  - 地域人材や資源（自然、施設、文化財等）のリスト
  - 地域の人々と連携・協力した授業や活動、地域資源（自然、施設、文化財等）を活用した授業や活動の記録
  - 生涯学習に関する校内、校外での研修記録 等
- 生涯学習関係情報の収集や発信をする。
  - 生涯学習コーナーの設置とその整備
  - 地域の行事等の情報の収集
  - 児童生徒への情報の発信
  - 教職員間における生涯学習に関する情報の共有化
  - 保護者や地域住民へ学校支援ボランティアや地域コーディネーター講座等の情報提供
- 生涯学習に関する校内研修を実施したり、校外で開催される研修の機会を活用したりする。
- 学校支援ボランティアや地域コーディネーター等との連絡・調整をする。
- 学校と地域との連携事業やPTA研修会、家庭教育学級等の企画・運営やその協力をする。



…「架け橋」への御意見・御感想、または情報などお待ちしております…